

J/Aバンクあきた優績表彰で当J/Aに最優秀賞

令和元年度の信用事業における業績が優れたJ/Aや店舗が発表され、当J/Aが「農業資金優績J/A表彰」で最優秀賞に輝きました。また、「優績店舗表彰」貸出部門において、秋田駅東支店が最優秀賞を受賞しました。

表彰式が中止となったため、5月13日(水)にJ/A秋田なまはげ会館で吉田文勝副組合長や秋田駅東支店の田口一樹支店長が表彰状を受け取りました。田口支店長は「いつも多くのお客様にご利用いただき、本当に感謝している。今年度も皆様のニーズに合った提案やサービスを心掛け、業務に励んでいきたい」と話しました。

賞状を受け取った
吉田副組合長(中央)ら



小学校で田植えがたけなわ

当J/A管内の小学校で5月、田植え作業の体験授業が行われました。

5月18日(月)には、秋田市立飯島南小学校の5年生が秋田厚生医療センター近くの学習田で田植えを体験し、当J/Aの営農担当職員や女性部員、地元農家とともに「あきたこまち」を手植えしました。

児童は裸足で水田に入り、泥の感触に歓声を上げながら丁寧に苗を植えていきました。田植えを終えた児童は「初めて田んぼに入ったら、泥が気持ちよかった。きれいに植えるのは、難しかったけれど楽しかった」と笑顔を見せていました。

苗を植える児童



NEWS & TOPICS

買って応援！地元産品応援セール

地元産の菓子や加工品などが並びました



5月下旬の4日間、「農家のパートナー」ネットワーク(秋田中央地域地場産品活用促進協議会)が秋田市の八橋第2球技場(スペースプロジェクト・ドリームフィールド)で「地元産品応援セール」を開きました。新型コロナウイルス感染症の拡大によって影響を受けた地元事業者を応援しようと、特設ブースで土産品や食品などが販売されました。秋田市・男鹿市・潟上市の3市から同協議会の会員約10事業者が出店し、各ブースには秋田牛や贈答用菓子、稲庭うどんやいぶりがつこなど、地元産の商品が特別価格で並びました。

間隔を空けて秋田牛ブースに並び来場者



応援セールは同協議会が行う「飲食店等応援プロジェクト」の一環で、テイクアウトが可能な飲食店を紹介する「おうちで秋田メシ！」や管内のタクシー事業者が配達する「おうちでタクメシ！」に続く第3弾です。

感染拡大防止のため、入口では来場者の検温や手指消毒が行われました。スタッフが来場者にマスクの着用を呼び掛けた他、密集状態を避けるためブース間や来場者の間隔を空けるように調整しました。

